

令和7年度「我が国循環産業の海外展開事業化促進業務」対象事業の選定結果について

当財団は、令和7年度我が国循環産業の海外展開事業化促進業務における統括業務請負者として、有識者で構成する「事業化促進業務対象事業選定・評価委員会」を設置し、同委員会にて当該年度の事業化促進業務へ応募のあった案件の評価・選定を行いました。令和7年4月11日から公募を行い、応募案件の審査を行った結果、令和7年8月18日までに下表の6件を採択しました。

なお、採択額が公募予算額に満たしたため、公募を終了します。

令和7年度「我が国循環産業の海外展開事業化促進業務」採択事業

	事業者名	対象国	事業名
(一次公募採択分)			
1	株式会社エンビプロ・ホールディングス	ベトナム	北部ベトナムにおける WEEE リサイクル事業
2	株式会社エム・ゼット	フィリピン	マニラ首都圏における冷凍空調機器廃棄物のリサイクル事業
3	石坂産業株式会社	ネパール	カトマンズ首都圏キルティプル市における Zero Waste Design 廃棄物再資源化事業
(二次公募採択分)			
4	株式会社ピリカ	タイ	バンコク都市圏における廃プラスチック板材化技術を活用した地域密着型資源循環モデル構築事業
(三次公募採択分)			
5	株式会社エックス都市研究所	モンゴル	ウランバートル市における一般廃棄物の統合型廃棄物処理事業
6	株式会社啓愛社	タイ	バンコク都市圏における家電・電子機器由来の e-scrap 再資源化事業

我が国循環産業の海外展開事業化促進業務

事業名：「北部ベトナムにおけるWEEEリサイクル事業調査委託業務」

1. 事業実施の団体名

(事業実施者・共同実施者)

株式会社エンビプロ・ホールディングス
株式会社浜田

(連携を図る法人名)

VSD Investment JSC

2. 対象地域・対象廃棄物等

(採択年度)

令和7年度

(対象国)

ベトナム

(処理対象廃棄物種類)

WEEE (電気電子機器廃棄物)

※家電4品目、小型家電 (PC含む)、ランプ類、太陽光パネルに限る

3. 海外展開を計画している事業の概要

(利用技術)

WEEEの解体・破碎・選別技術、太陽光パネルリサイクル技術、ランプ類 (バックライト含む) 処理技術。

(事業内容)

WEEEの中でも特にリサイクルが難しく有害廃棄物を含む家電4品目、小型家電 (PC含む)、ランプ類、太陽光パネルを対象として、ベトナムにおける適正なリサイクルフローの構築や廃棄問題の解決を目指す。

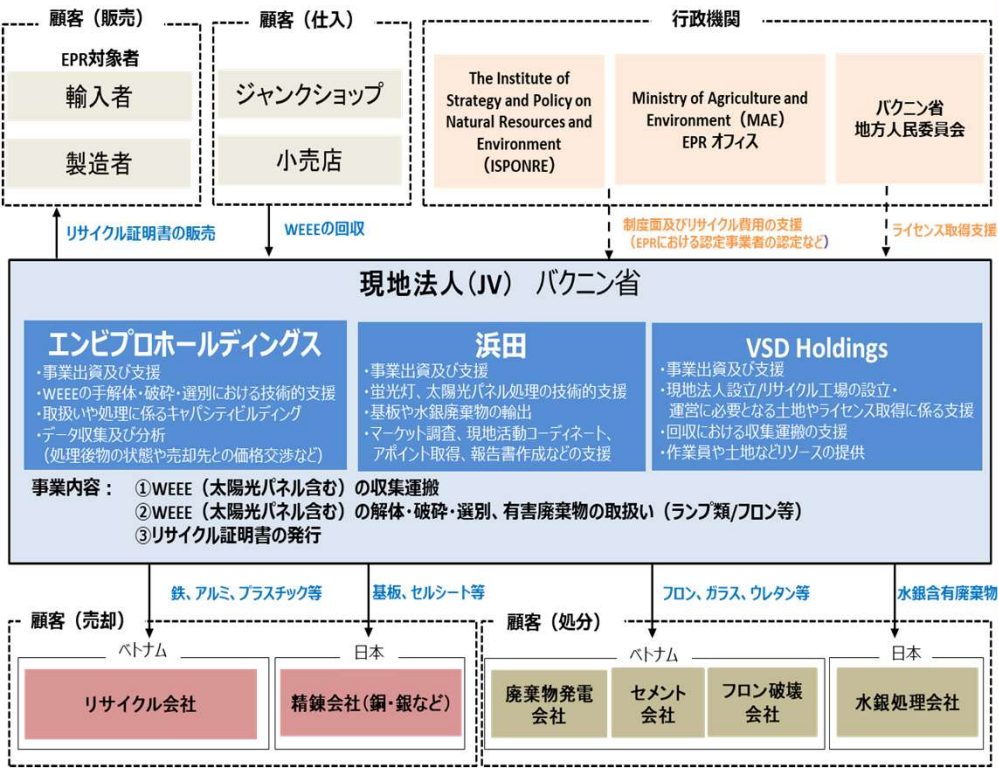
(事業の実施体制)

当社、浜田、VSDの3社によるJV設立。当社と浜田は、リサイクルに係る技術の提供、及び各社のネットワークを活用した国際金属資源循環の促進を行う。VSDは土地やライセンス取得に係る支援、また現地での工場運営を担当。MAE、ISPONRE、地方人民委員会などからは制度面での支援を受け連携を図る。

(環境負荷低減効果)

WEEEの適切なリサイクルにより、環境汚染や健康被害の問題解決を行うと共に、最終処分場の廃棄物減容化にも貢献する。

(事業の全体像のイメージ)



我が国循環産業の海外展開事業化促進業務

事業名：「マニラ首都圏における冷凍空調機器廃棄物のリサイクル事業」

1. 事業実施の団体名 (事業実施者・共同実施者)

株式会社エム・ゼット
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
(連携を図る法人名)

Delsa, Inc.(現地パートナー候補)、環境天然資源省(DENR)等関係省庁

2. 対象地域・対象廃棄物等 (採択年度)

令和7年度

(対象国)

フィリピン共和国

(処理対象廃棄物種類)

- ・冷凍空調機器廃棄物 (業務用空調機・冷凍機、家庭用エアコン、カーエアコン等)
- ・冷凍空調機器の使用済み冷媒 (フロンガス)

3. 海外展開を計画している事業の概要 (利用技術)

- ・廃棄空調機器等の回収技術/資源化ノウハウ、
- ・空調機冷媒フロンガスのライフサイクルマネジメント技術

(事業内容)

冷凍空調機器 (業務・家庭用エアコン、カーエアコン等) の機器廃棄物の適正回収の流れの構築 と 使用済みフロンの回収、再生、適正処理、販売事業 (フロン再生処理能力4トン/月)

(事業の実施体制)

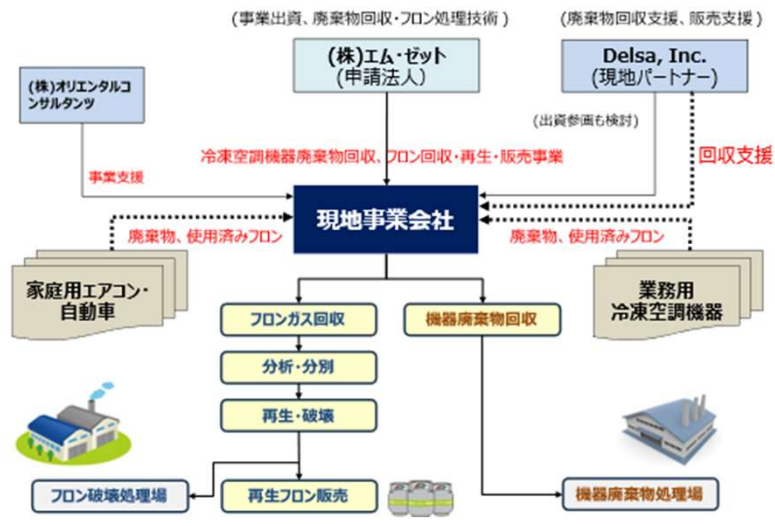
現地に事業会社を設立し冷凍空調機器廃棄物の適正処理と廃棄フロン回収、再生、販売を展開。現地法人との共同事業化や協業も検討

(環境負荷低減効果)

事業の推進に伴う廃棄物の適正リサイクル量の増加、またフロンのリサイクルに伴う温室効果ガスの排出削減量増加を見込む

事業の全体像のイメージ

実施体制



我が国循環産業の海外展開事業化促進業務

事業名：「カトマンズ首都圏キリトプール市におけるZero Waste Design廃棄物再資源化事業」

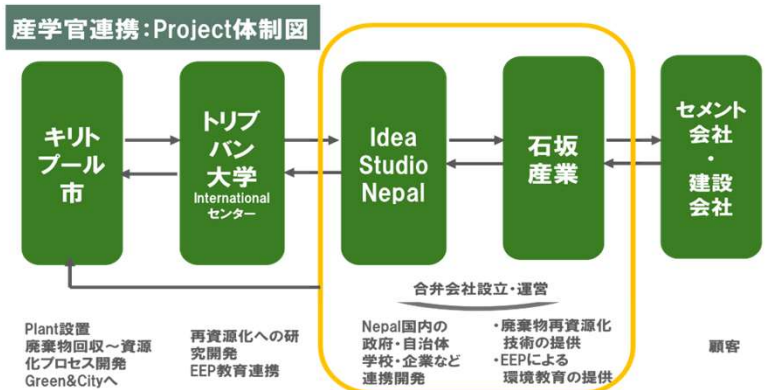
1. 事業実施の団体名
(事業実施者・共同実施者)
石坂産業株式会社
(連携を図る法人名)
・Idea Studio Nepal
・トリブバン大学・キリトプール市
・現地セメント会社・建設会社

2. 対象地域・対象廃棄物等
(採択年度)
令和7年度
(対象国)
ネパール
(処理対象廃棄物種類)
一般家庭ごみおよび産業廃棄物

3. 海外展開を計画している事業の概要
(利用技術)
●廃棄物の減量化・分別技術による再資源化技術
●廃棄物からRDF/RPFおよび廃コンクリート製品の製造

- (事業内容)
1.廃棄物の減量化・再資源化事業/循環資材製品の製造・販売事業
2.トリブバン大学と連携したExpert Exchange Programをベースとした環境教育事業
3.2の教育を通しての日本国内での人財サービス事業

(事業の実施体制)



(環境負荷低減効果)

1. 温室効果ガス排出量削減効果
2. 石炭のRDF/RPF代替によるコスト削減効果
3. 埋め立て地の廃棄物削減効果
4. 街の美化
5. 環境教育による廃棄物処理に対する意識向上
と環境課題解決促進効果

(事業の全体像イメージ)



我が国循環産業の海外展開事業化促進業務

事業名：「バンコク都市圏における廃プラスチック板材化技術を活用した地域密着型資源循環モデル構築事業」

1. 事業実施の団体名
(事業実施者・共同実施者)

株式会社ピリカ
(連携を図る法人名)
株式会社GoodHouse

2. 対象地域・対象廃棄物等
(採択年度)

2025年度
(対象国)
タイ国
(処理対象廃棄物種類)
海岸漂着ごみ・都市ごみ

3. 海外展開を計画している事業の概要
(利用技術)

雑多なプラスチックごみから必要最小限の選別とペレット工程を省略したリサイクル板材製造技術
(事業内容)
混合プラスチックごみの成型技術を、タイにおいて導入可能性かを調査し、最終的に海岸漂着ごみや都市ごみ等を活用した製品展開を目指す。導入規模としては技術支援頂くGoodHouse社が国内で実施していた30t/月（1日8h体制）を目指す。
(事業の実施体制)
・株式会社ピリカ：本事業の統括および現地調査の実施、国内外関係者との連携調整・ワークショップ実施
・株式会社GoodHouse：板材の試作支援、今後の設備導入や製造フロー設計に関する技術的助言
(環境負荷低減効果)
廃プラ1tの焼却によるCO2排出量は約2.7tであり、上記の導入規模を達成すれば最大80.7t/月のCO2排出抑制が期待できる。

(事業全体像イメージ)

ごみの回収



【実施主体】
・バンコク都環境局（BMA）
・チョンブリー県の廃棄物回収を担う部局
・海岸清掃NGO（Island Marine Debris Networkなど）

↓

板材化



【実施主体】
・国内：ピリカ、Goodhouse
・現地リサイクルメーカー等（板材成形を行う協力先候補）

↓

利活用



【実施主体】
・DMCR（環境省 海洋・海岸資源局）
・自治体の公共設備管理部門（公園緑地課等）

我が国循環産業の海外展開事業化促進業務

事業名：「ウランバートル市における統合型廃棄物処理施設プロジェクト」

1. 事業実施の団体名

(事業実施者・共同実施者)

株式会社エックス都市研究所 (EX)

一般社団法人 YOKOHAMA URBAN SOLUTIONS ALLIANCE (YUSA)

(連携を図る法人名)

JFEエンジニアリング株式会社

2. 対象地域・対象廃棄物等

(採択年度)

令和7年度

(対象国)

モンゴル国

(処理対象廃棄物種類)

都市廃棄物

3. 海外展開を計画している事業の概要

(利用技術)

WtE主要コンポーネント(焼却炉 + ボイラ、選別・リサイクル施設等)

(事業内容)

ウランバートル市内で統合型廃棄物処理施設設置の実現可能性を検討するため、将来的なごみ量やごみ質、法制度等について調査を行う。

(事業の実施体制)

現地で想定されているPPPでの事業実施を前提とする。

(環境負荷低減効果)

東南アジア他国における日量約500t規模の廃棄物発電事業の温室効果ガス排出削減量を参考に、熱量は同等と仮定し、グリッド排出係数の差を考慮して試算した結果、年間約75,000トンのCO₂排出削減と推計される(調査結果に基づき精査)。最終処分量の削減により、処分場からの汚染負荷の削減、処分場の延命化を測ることができる。

事業のイメージ図

```
graph TD; subgraph Mongolia ["【モンゴル】"]; direction LR; Ulaanbaatar["ウランバートル市"]; Local["現地企業"]; end; subgraph Japan ["【日本】"]; direction TB; EX["エックス都市研究所"]; YUSA["YUSA"]; JFE["JFEエンジニアリング"]; end; Ulaanbaatar -- "調査・検討" --> EX; EX -- "調査合意形成" --> Ulaanbaatar; Japan -- "参入" --> Bar["実現可能性調査(当業務)"]; JFE -- "調査事項や調査方法に関する助言" --> Bar;
```

我が国循環産業の海外展開事業化促進業務

事業名：「バンコク都市圏における家電・電子機器由来のe-scrap再資源化事業」

1. 事業実施の団体名

(事業実施者・共同実施者)

- ・株式会社啓愛社
- ・KI-Ecotech Co., Ltd.
- ・株式会社エックス都市研究所

2. 対象地域・対象廃棄物等

(採択年度)

令和7年度

(対象国)

タイ国

(処理対象廃棄物種類)

家電・電子機器由来のe-scrap

3. 海外展開を計画している事業の概要

(利用技術)

- ・家電・電子機器の解体・選別・リサイクル技術や有害物質の適正管理・処理技術。
- ・日本の精錬メーカーでの基板類の再資源化技術。

(事業内容)

- ・啓愛社のタイ現地法人KI-Ecotechでの既存品の解体に加え、工場や市中からの回収を含めた電子・電機機器廃棄物由来の基板類や白物家電4品目(テレビ/冷蔵庫/洗濯機/エアコン)の回収体制構築・強化により、現在の解体リサイクル事業の規模拡大を目指す。
- ・抽出した基板類を日本の精錬メーカーに送って再資源化する事業の実現可能性を調査する。

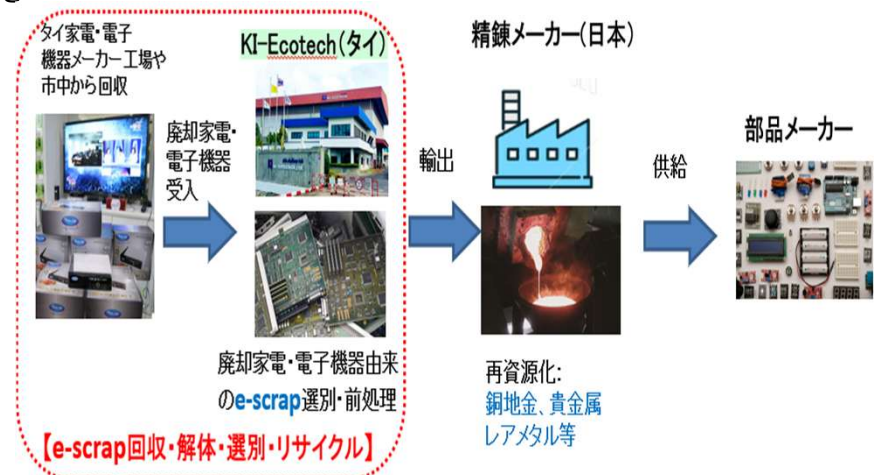
(事業の実施体制)

- ・啓愛社は、全体の統括を行い、調査結果に基づく投資判断、事業計画作成(採算性含め)などを担当。
- ・KI-Ecotechは、現場でのe-scrapの回収・解体・選別・リサイクル事業、基板類の日本への輸出などの実務に基づく、解体作業人員/新規設備導入/コストなどを含む事業計画を立案。
- ・エックス都市研究所は、KI-Ecotechでのe-scrap回収拡大のためのネットワーク形成支援、また、フロンや重金属等の危険物の適正処理及び効率的な資源回収のための品目毎の技術的要件に就いてアドバイスを行う。

(環境負荷低減効果)

- ・KI-Ecotechが現在扱っている品目のリサイクル率は97.6%と高く、新規品目の拡大により、更なる生態系への影響の軽減化が期待される。

(事業の全体像イメージ)



FS on introduction waste management technology

Project name : FS on WEEE Recycling Business in Northern Vietnam

1.FS implementation company (Project developer)

- Envipro Holdings Inc.
- Hamada Co., Ltd.

(Partner Companies/Association)

- VSD Investment JSC

2.Country and Waste types (Year for FS implementation)

FY2025

(Country)

Vietnam

(Waste types)

WEEE-limited to televisions, refrigerators, washing machines, and air conditioners, as well as small home appliances, lamps, and solar panels.

3.Planned project outline (Technology)

Technologies for dismantling, crushing, and sorting WEEE (Waste Electrical and Electronic Equipment), solar panel recycling, and processing of lamps (including backlights).

(Project description)

The project targets specific categories of WEEE that are particularly difficult to recycle and contain hazardous waste. The aim is to establish a proper recycling flow and address waste management issues.

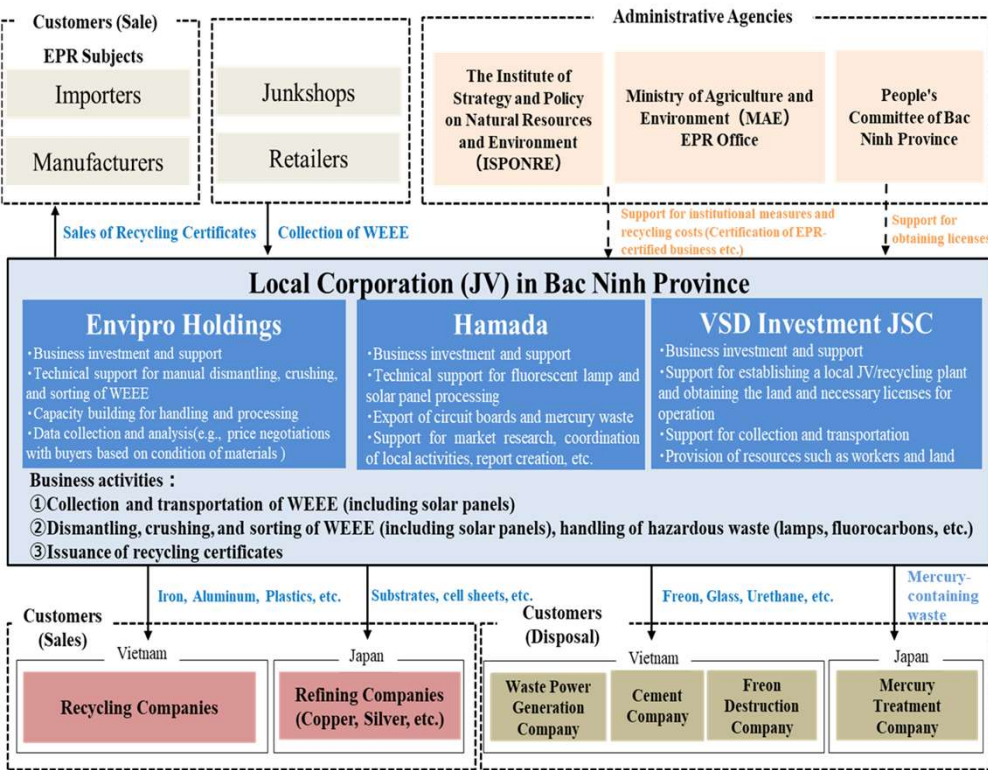
(Project implementation formation)

A joint venture will be established. Envipro and Hamada will leverage their experience and networks to provide technical support and promote international metal resource circulation. VSD will handle licensing and regulatory support, as well as local operations.

(Impact of reducing environmental burden)

Proper recycling of WEEE will help resolve social issues such as environmental pollution and health hazards, contribute to reducing the volume of waste sent to final disposal sites.

(General picture of this project)



FS on introduction waste management technology

Project name: “Recycling project for waste refrigeration and air-conditioning equipment in Metro Manila”

1. FS implementation company (Project developer)

- MZ Co., Ltd.
- Oriental Consultants Co., Ltd.

(Partner Companies/Association)

Delsa, Inc. (local partner candidate), Department of Environment and Natural Resources (DENR), and other relevant government agencies

2. Country and Waste types (Year for FS implementation)

FY 2025

(Country)

Republic of the Philippines

(Waste types)

- Waste refrigeration and air-conditioning equipment
- Used refrigerants (F-gas) from refrigeration and air-conditioning equipment

3. Planned project outline (Technology)

- Recovery technology for waste air conditioning equipment, resource recovery know-how
- Lifecycle management technology for F-gas used as refrigerant in air conditioners

(Project description)

Establishment of a proper collection system for waste refrigeration and air-conditioning equipment(including commercial and residential air conditioners, and vehicle air conditioners)

Recovery, reclamation, proper treatment, and sales of reclaimed F-gas

Planned capacity: 4 tons/month of reclaimed refrigerant processing

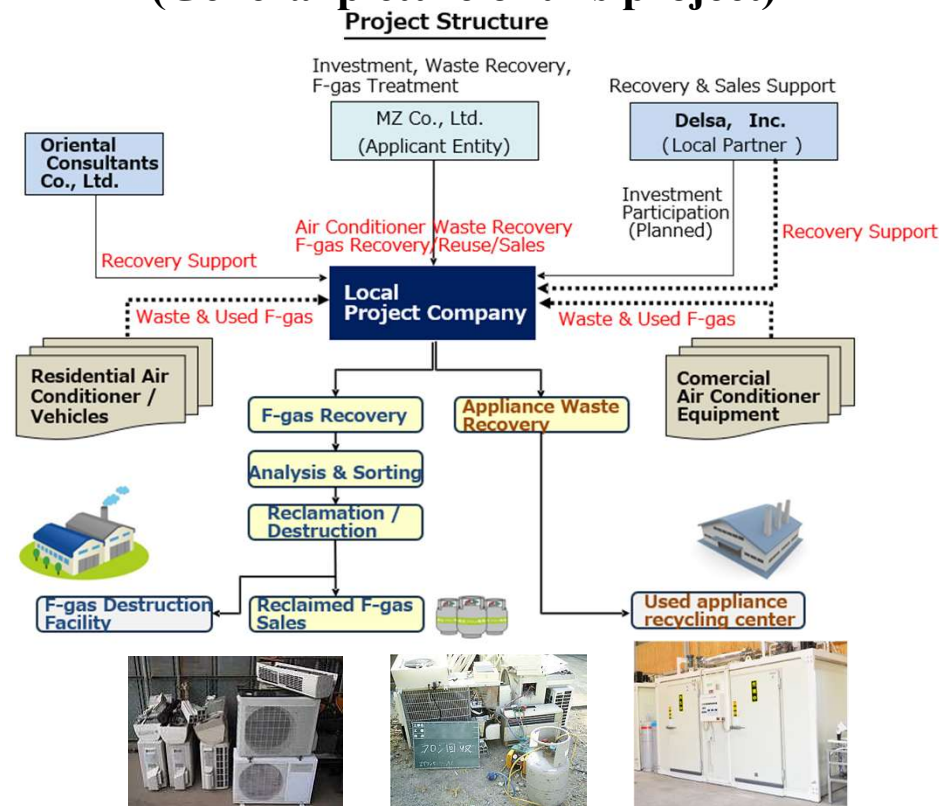
(Project implementation formation)

Establishing a local company for proper waste treatment and the recovery, reclamation, and sale of F-gas. Exploring partnerships with local firms.

(Impact of reducing environmental burden)

The project is expected to increase the volume of properly recycled waste and reduce greenhouse gas emissions through the proper disposal of F-gas.

(General picture of this project)



FS on introduction waste management technology

Project name : “ZERO WASTE DESIGN Waste Resource Recovery Project in Kirtipur City, Kathmandu Metropolitan Area”

1.FS implementation company (Project implementers/Joint implementers)

Ishizaka Inc.
(Partner Companies/Association)
Idea Studio Nepal
Tribhuvan University • Kirtipur City
Local Cement and Construction companies

2.Country and Waste types (Year for FS implementation)

Fiscal Year 2025 (Reiwa 7)
(Country)
Nepal
(Waste types)
General Household Waste and Industrial Waste

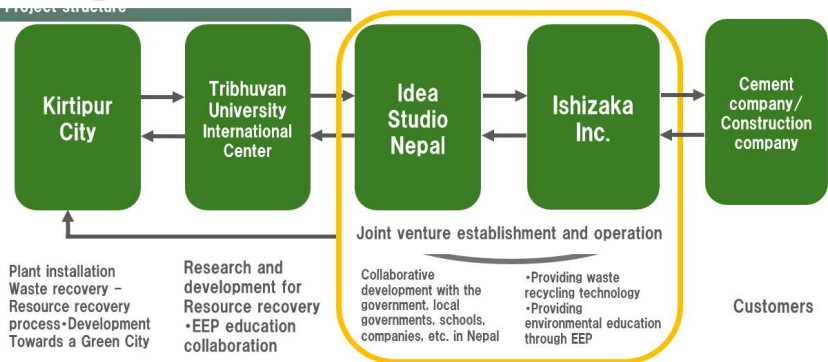
3.Planned project outline (Technology)

- Resource recovery technologies through waste reduction and separation methods.
- Production of RDF/RPF and recycled concrete products from waste.

(Project description)

1. Waste reduction and resource recovery project / Manufacturing and sales of circular resource-based products.
2. Environmental education project based on an Expert Exchange Program in collaboration with Tribhuvan University.
3. Human resource services in Japan through education from item 2.

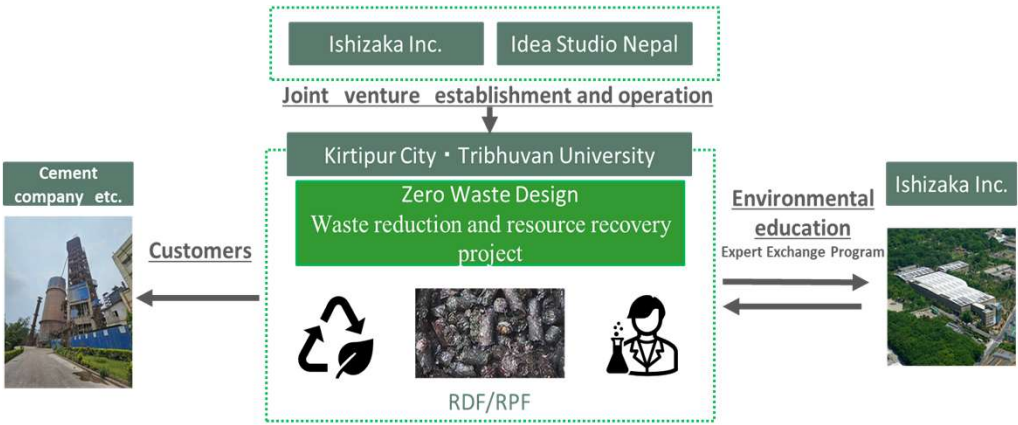
(Project implementation formation)



(Impact of reducing environmental burden)

- Reduction in greenhouse gas emissions.
- Reduction in cost through substitution of coal with RDF/RPF.
- Decrease in landfill waste volume.
- Urban beautification.
- Environmental education-driven enhancement of waste management awareness and promotion of solutions to environmental challenges.

(General picture of this project)



FS on introduction waste management technology

Project name : Community-Based Resource Circulation Model Project in the Bangkok Metropolitan Area Utilizing Waste Plastic Board Manufacturing Technology

1.FS implementation company

(Project developer)

Pirika.Inc

(Partner Companies/Association)

GoodHouse Co., Ltd

2.Country and Waste types

(Year for FS implementation)

FY2025

(Country)

The Kingdom of Thailand

(Waste types)

Beach litter • Urban waste

3.Planned project outline

(Technology) : A recycled plastic board manufacturing technology that minimizes sorting and eliminates the pelletizing process for mixed plastic waste

(Project description) : The project aims to examine the feasibility of introducing molding technology for mixed plastic waste in Thailand

(Project implementation formation)

Pirika Inc.: Overall project management, implementation of on-site surveys, coordination with domestic and international stakeholders, and organization of workshops

GoodHouse Co., Ltd.: Support for board prototyping and technical advice on future equipment installation and production process design

(Impact of reducing environmental burden)

A maximum reduction of 80.7 tons of CO₂ emissions per month is expected.

(General picture of this project)

Waste collection



【Implementing Entities】

Bangkok Metropolitan Administration (BMA),
Waste collection department of Chonburi Province
Coastal cleanup NGOs (e.g., Island Marine Debris Network)



Board manufacturing



【Implementing Entities】

Japan: Pirika Inc., GoodHouse Co., Ltd.
Thailand: Local recycling companies
(potential partners for board molding operations)



Utilization



【Implementing Entities】

Department of Marine and Coastal Resources (DMCR)
Municipal departments responsible for public facility management

FS on introduction waste management technology

Project name : “Integrated Waste Management Facility Project in Ulaanbaatar City”

1.FS implementation company

(Project developer)

EX Research Institute Ltd.

Yokohama Urban Solution Alliance

(Partner Companies/Association)

JFE Engineering Corporation

2.Country and Waste types

(Year for FS implementation)

FY2025

(Country)

Mongolia

(Waste types)

Municipal Solid Waste

3.Planned project outline

(Technology)

Major WtE components (incinerator + boiler, sorting and recycling facilities, etc.)

(Project description)

To assess the feasibility of establishing an Integrated Waste Management Facility in Ulaanbaatar City, the project will conduct studies on projected waste volume, waste composition, and relevant legal and regulatory frameworks.

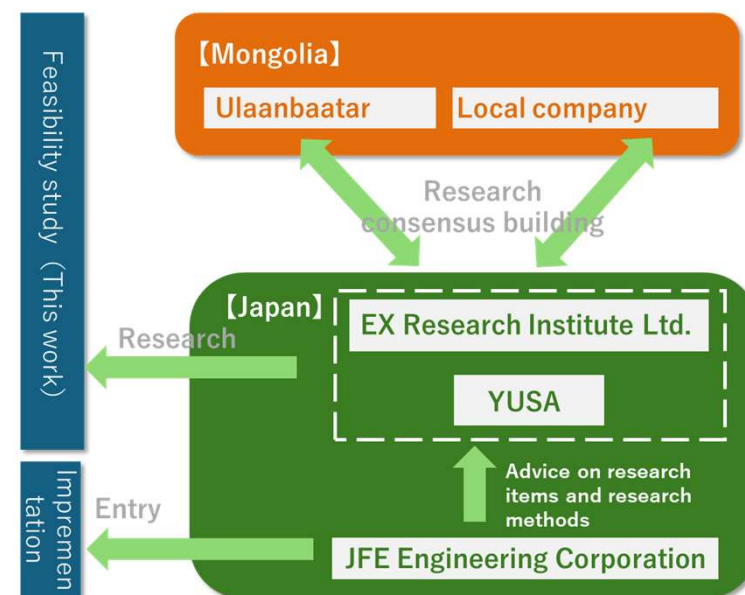
(Project implementation formation)

The project is premised on implementation under PPP scheme, as envisioned locally.

(Impact of reducing environmental burden)

Based on the estimated GHG emission reductions from an approximately 500 ton-per-day WtE project in another Southeast Asian country, and assuming equivalent thermal output while accounting for differences in the grid emission factor, the project is estimated to achieve an annual CO₂ reduction of approximately 75,000 tons (subject to refinement based on the study's findings). Furthermore, the reduction in final disposal volume will mitigate pollution loads from the landfill and contribute to the prolongation of the landfill's operational life.

(General picture of this project)



FS on introduction waste management technology

Project name: “e-scrap recycling business for home appliances and electronic devices in the Bangkok metropolitan area”

1.FS implementation company (Project developer)

- Keiaisha Co., Ltd.
- KI-Ecotech Co., Ltd.
- EX Research Institute Ltd.

2.Country and Waste types (Year for FS implementation)

FY2025

(Country)

Thailand

(Waste types)

e-scrap from home appliances and electronic devices

3.Planned project outline

(Technology)

- Dismantling, sorting, and recycling technologies for home appliances and electronic devices, and proper management and treatment technologies for hazardous substances.
- Recycling technology for circuit boards at refining companies in Japan.

(Project description)

- KI-Ecotech aims to expand the scale of its current dismantling and recycling business by establishing and strengthening the collection system for circuit boards from e-scrap and white goods, including collections from factories and collection companies in the cities.
- Investigate the feasibility of recycling business by sending the circuit boards to Japanese refining companies for their analysis.

(Project implementation formation)

- Keiaisha : Make the business plan including profitability.
- KI-Ecotech : Draft the business plan including demolition workers, new equipment installation, costs, etc.
- EX Research: Support the formation of the network and advise on the proper disposal of hazardous materials.

(Impact of reducing environmental burden)

- KI-Ecotech currently has a high recycling rate of 97.6% for the item it handles now, and by expanding its range of new items, it is expected to further contribute to the ecosystem.

(General picture of this project)

